# 那覇市立教育研究所

所報第２号

平成２２年５月１４日
那覇市金城３－５－３
所 長　　池 間 生 子

## 気になる「ざわめくクラス」

所長　池間生子

一九九〇年代後半から、学校現場で「学級崩壊」という言葉が取り上げられるようになった。

学級崩壊とは具体的にはどのような現象なのであろうか。文部省（当時）は「学級がうまく機能しない状況」という呼び方で次のように規定している。「子供たちが教室内で勝手な行動をして教師の指示に従わず授業が成立しない等、集団教育という学校の機能が成立しない学級の状態が一定期間継続し、学級担任による通常の手法では問題が解決できない状態に立ち至っている場合」と示している。不幸にしてそういう状態に陥った時、実際に行われる学校の取り組みとして、

①学年で指導の方向性の確認
②校長・教頭等が行う介入授業
③授業成立のための監視
④中心になっていると思える児童生徒の個別指導

等が行われている。これらは基本的に児童生徒に問題があるとした取り組みである。しかし、本当にそうなのであろうか。

学級崩壊しかけている学級であっても信頼関係のある大人の前では態度が一変することがある。児童生徒は、自分達が行っている行動が良くないことは重々承知なのだと思う。そのため、先に述べた取り組みではなかなか改善が図れないのである。では、なぜ、児童生徒と担当教諭の信頼関係が崩れたのだろうか。多方面からも原因は考えられるが、担当教諭に課題があるとして考えてみよう。

①集団におけるルールの大切さへの意識が低い。（個への対応は丁寧にできる）
②物事を判断する時、基本になる考えがはっきりしないためブレてしまう。
③充実した授業の展開が少ない。

等の三点が大きいのではないかと思う。

児童生徒の様子がおかしいと感じた時、何が原因になっているかチェックを行い、信頼関係をつくっていくための早めの対応が必要である。よく言う「早期発見・早期対応」である。

学級担任、教科担任が力をつけて変わらないかぎり、崩壊しかけている学級の立ち直りはないのだと思う。

## 平成２２年度　９４期　研究員の研修計画紹介

| | | |
|---|---|---|
| 4/ 1(木) | 「入所・オリエンテーション」 | |
| 4/ 5(月) | 「入　所　式」 | |
| 4/ 5(月) | 「研　修　１」 | 研究の進め方Ⅰ |
| 4/ 6(火) | 「研　修　２」 | 所長講話　教育研究について |
| 4/26(月) | 「テーマ検討会」 | テーマ設定の理由の明確化 |
| 4/30(金) | 「項立て検討会」 | 研究の柱となる流れの検討 |
| 5/13(木) | 「研　修　３」 | 研究の進め方Ⅱ |
| 5/14(金) | 「所内講座」 | 秋田の教育について |
| 5/24(月) | 「中間検討会Ⅰ」 | 理論の明確化 |
| 5/27(木) | 「所内講座」 | 沖縄伝統芸能講座 |
| 6/11(金) | 「所内講座」 | 子どもの発達講座 |
| 6/22(火) | 「所内講座」 | 表計算処理ソフト講座 |
| 6月~7月 | 「検証授業」 | 研究授業 |
| 8/ 5(木) | 「中間検討会Ⅱ」 | 実践の成果と課題の明確化 |
| 8/31(火) | 「原稿検討会」 | 研究報告書の原稿確認 |
| 9/ 3(金) | 「所内講座」 | プレゼンテーション講座 |
| 9/27(月) | 「成果報告会」 | |
| 9/27(月) | 「修　了　式」 | |
| 9/30(木) | 「研究修了」 | |

現在計画中の内容です。
その他　講座・研修については，調整中。

4/26(月)　「テーマ検討会」の様子

村吉博勝

赤嶺栄達

高良奈緒子

## 平成２２年４月３０日（金）　「授業づくり講座Ⅰ」　教育研究所１Ｆホール

対象：経験年数が通算で２年未満の定臨・補充の教諭

「日々の学力の向上を目指して」

資料項目
１確かな学力の向上をめざして（１単位時間のながれ）
２授業を支える学習の約束事はできていますか。
３教師自身が発する言葉に責任を持つことが大切です。
４「ざわめくクラス」
５おかしいと気がついたら！
６週案を書いているフレッシュ先生に質問します。
７ベテラン先生からのアドバイス！①②
８週案作成のポイント　（週案の実際　小学校・中学校）

忙しい時期の講座でしたが，年度はじめの学級経営における注意点の確認ができました。
また，週案作成を通して計画的な指導の重要性についても 研修を深めました。

次回：７月９日（金）発
参加を待ちしております。

## 算数・数学授業改善支援チーム

「算数・数学授業改善支援チーム」が今年度も発足致しました。学校現場の要請に対応した「教材研究」「指導案作成」「授業研究会」等のサポートを主な業務内容としております。

派遣要請申込み書を教育研究所ホームページからダウンロードして小中学校どちらかの窓口へＦＡＸで申込み下さい。

チーム派遣の流れ

【学校】 → 【窓口】 → 【チーム委員】 → 【窓口】 → 【学校】
派遣要請申込み書　派遣内容報告　参加の可否報告　参加委員名報告

### 委員紹介

校内研授業や２～３人の学習会でも対応致します。

委員長

真玉橋晃課長

副委員長

池間生子所長

副委員長

兼浜みどり副参事

小学校窓口　教育研究所　宮里
FAX　内線８６８１
中学校窓口　学校教育課　伊良皆
FAX　内線３５２２

**小学校班**

松岡康成

宮里　晋

奥間千賀子

宇根教子

**中学校班**

伊良皆恭子

名嘉原安志

座安美奈子

上江田里夏